



題字 埼玉県立川越南高等学校 3年生 木村 佳凜 様

2月19日
(2月定例会開会日)

1月28日に発生した八潮市における 道路陥没事故に関する県議会での取り組み

先の八潮市における道路陥没事故は、県民の平穏な日常生活に大きな影響を与え、インフラの老朽化対策が喫緊かつ重大な課題であることを改めて浮き彫りにさせました。

本県議会では、県民生活の安全・安心を図るため、緊急に、以下のとおり、全会一致により決議を行うとともに、国に対して必要な支援を求める意見書を提出することを可決しました。



▲詳細は
こちらから

道路陥没事故に係る下水道復旧、住民・事業者への対応及び老朽化対策の決議

事故で日常生活や事業活動に影響を受けた県民や事業者への対応、更には今回のような事故を未然に防ぎ、県土を強靱化させるために必要不可欠なインフラの老朽化対策が十分に確保されるよう、本県議会は全力で責務を果たしていく。【一部抜粋】

道路陥没事故に係る対応への支援を求める意見書

国においては、人的・技術的支援に加え、財政的支援においても最大限に行っていただくとともに、国土強靱化実施中期計画の策定においては、地方自治体の意見を十分に踏まえて、下水道の強靱化を重要な施策として位置付け、必要な予算を確保することを強く求める。【一部抜粋】

関連予算案・計画案を審議

〈関連予算案の審議・可決〉

- 下水道管の破損および道路陥没への対応に要する経費について、急施議案として他の議案に先立って審議し、令和7年2月28日に可決した。
- 国の令和6年度の予備費を活用した追加工事実施に必要な経費について審議し、令和7年3月27日に可決した。

〈埼玉県5か年計画中間見直し案の修正案を含めた審議・可決〉

- 県政運営の基礎となる現行の5か年計画中間見直し案に対し、下水道の老朽化対策を推進する旨を明記した議会側からの修正案を含め審議し、令和7年3月27日に修正可決した。

主な内容

1 面

- ◆1月28日に発生した八潮市における道路陥没事故に関する県議会での取り組み
- ◆議長あいさつ
- ◆2月定例会の動き
- ◆議決の概要

2・3 面

- ◆代表質問・一般質問
- ◆意見書・決議

4・5 面

- ◆予算特別委員会
- ◆主な質疑と答弁
- ◆令和7年度一般会計予算の概要

6・7 面

- ◆委員会リポート
- ◆主要会派から
- ◆県議会公式YouTube

8 面

- ◆新たな委員会構成
- ◆大学生等と県議会議員との意見交換会を今年度も開催予定
- ◆県議会クイズ プレゼント付き



県議会マスコット
「ポッポ」

2月定例会の動き

2月19日(水)から3月27日(木)まで37日間にわたり開かれました。

2月19日

開会日

知事提出議案について、知事から提案説明が行われました。
八潮市で発生した道路陥没事故に関連する決議、意見書を含む3件の議員提出議案について全会一致で可決されました。

2月26日・27日

代表質問

26日には知事追加提出議案について、知事から提案説明が行われました。(2面)

2月28日・3月3日・4日

一般質問

19日提出の議案のうち3件については急を要するため、26日に常任委員会で審査が行われ、28日に委員長報告を経て、採決が行われました。(2・3面)

2月26日・3月6日・21日

常任委員会

補正予算・条例などの議案の審査などが行われました。(6面)

3月5日・17日

5か年計画等特別委員会

県の基本的な計画に関する6議案について審査が行われました。(6面)

3月10日

特別委員会

付託案件の審査が行われました。
※予算特別委員会および5か年計画等特別委員会を除く。(6面)

3月11日～14日・
17日・19日・24日

予算特別委員会

当初予算案などについての集中的な審査が行われました。(4・5面)

3月21日

本会議

知事追加提出議案について、知事から提案説明が行われ、常任委員会で審査が行われました。

2月28日・3月26日

委員長報告

3月27日

閉会日

各委員会の委員長報告を受けて討論・採決が行われました。

議長あいさつ

第129代埼玉県議会議長に就任いたしました白土幸仁です。誠に身に余る光栄であり、心より感謝を申し上げるとともに、歴史と伝統のある埼玉県議会の議長という職責の重さに身が引き締まる思いであります。

本年は、2025年問題と呼ばれる、団塊の世代がすべて75歳以上の高齢者となることに加え、昨年の出生数が統計開始以来最少となるなど、少子高齢化が加速度的に進行しており、地方創生に向けて大変厳しい局面を迎えています。

また、先の八潮市における道路陥没事故は、県民の平穏な日常生活に大きな影響を与え、インフラの老朽化対策が喫緊かつ重大な課題であることを改めて浮き彫りにしました。

こうした先の見えない時代だからこそ、社会の変化を敏感に感じ取り、迅速に適応していくことが求められます。



埼玉県議会議長
白土幸仁



埼玉県議会副議長
飯塚俊彦

このような中、議会が県政の重要課題に対して監視機能を発揮するとともに、私たち議員が県民の皆さまの声に真摯に耳を傾け、そして活発に議論し、社会状況に即した政策提案を行っていくことが重要です。

二元代表制の一翼を担う県議会がその役割と責務を果たすことができるよう、微力ではありますが、これまで培った経験を生かし、公平、公正かつ円滑な議会運営に全力を尽くしてまいります。

県民の皆さまにおかれましては、今後とも県議会に対するより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

知事提出議案

- 令和7年度埼玉県一般会計予算 ※5面参照
- 令和6年度埼玉県一般会計補正予算(第6号)
補正後歳入歳出予算(総額) 2兆2,952億4,330万6千円
- 令和6年度埼玉県流域下水道事業会計補正予算(第1号)
補正後歳入歳出予算(総額) 919億480万円
- 埼玉県学校設置条例の一部を改正する条例
県立高等学校12校の統合および名称変更を行うための改正など78件を可決、3件を修正可決、4件に同意

議員提出議案

- 誹謗中傷に対する抑止力の抜本的な強化を求める意見書
- 子ども誰でも通園制度における補助額の拡充と制度の安定運営を求める意見書
など21件を可決

議案別会派別
表決状況はこちら▼



議案一覧は
こちら▼



議決の概要

代表質問

2月26日、27日の代表質問では、会派を代表して3人の議員が質疑質問を行いました。

ホームページでご覧になれます

代表質問・一般質問の質疑質問・答弁の全文はこちらからご覧になれます。▶



2月26日(水曜日)

2月27日(木曜日)



田村琢実 (自民)

南第6区 さいたま市見沼区





田並尚明 (民主フォーラム)

北第4区 熊谷市





蒲生徳明 (公明)

南第1区 草加市



県民の安心と安全を担保する医療の提供
経営状況急変医療機関への支援について

持続可能な財政運営について

県の防災対策
埼玉県地域防災計画（＊6）について

Q 国の「病床数適正化支援事業」(＊1)を活用して、厳しい経営環境に置かれている県内医療機関などへ財政的支援を行うことで、医療機関の連携・再編・集約化に向けた取り組みを加速させ、地域に必要な医療提供体制を確保する必要があると考えるが所見を伺う。

A 事業により生み出された病床は、将来的に地域に必要な病床整備に充てることも可能になり、人口減少も見据えた医療機関の連携などにも資するものと考ええる。急激な変化に伴う病床数適正化が目的であることから県内医療機関のニーズなども伺いながら活用を検討したい。

Q 今後、県の歳出は増える一方で歳入は減っていくと思われるが、インフラの維持や教育の充実など県民に必要なサービスを無くすことはできない。真に必要な事業への選択と集中や歳入確保が重要。将来を見据えどのように持続可能な財政運営を行っていくのか所見を伺う。

A 県税収入の確保に加え、県有施設のネーミングライツ(＊3)導入を進め、令和7年度からは返礼品付ふるさと納税を開始し歳入確保に取り組む。歳出面ではEBPM(＊4)に基づき事業を見直し、タスク・トランスフォーメーション(＊5)で行政の生産性向上を図る。

Q 国は防災基本計画(＊7)の修正を決め、能登半島地震で要配慮者(＊8)が多く被災したことを踏まえ、避難所の生活環境の改善や災害応急対策に福祉的な支援の必要性を明記した。この計画の修正内容を県はどう受け止め地域防災計画に生かそうと考えているのか伺う。

A 国計画の修正は重要なものと認識しており、検証報告などを踏まえ県計画の修正を令和7年5月に行う予定。避難所開設当初からパーティションなどの設置に努め、快適なトイレ設置への配慮や、避難所などにJ R A T (＊9)などの派遣などを盛り込むことを考えている。

誰もが暮らしやすい埼玉県の創造 重度心身障害者医療費助成制度（＊2）の拡充について

県のこども若者政策について

Q 精神障害者の助成対象拡大は一步前進であるが、身体・知的と精神の3障害の格差是正には程遠い。今後も障害種別による差別解消を進めていくのか。助成対象を精神障害者保健福祉手帳2級所持者全員に加え、精神病床の入院費を含めるよう強く求めるが所見を伺う。

A 精神2級かつ自立支援医療受給を要件として精神科通院費を助成し、定期受診を促す仕組みとした。精神障害者の地域移行を目指すためには通院費助成が必要であり、入院費の助成は慎重な検討も必要。対象拡大を市町村に働きかけるとともに国に制度創設を要望する。

Q ネット上の差別行為は部落差別を拡大助長する悪質な行為。県条例違反でもあるネットの部落差別に関して県ではどのような対策を講じていくのか。知事が直接さいたま地方法務局に出向いて削除要請をすることで、強いメッセージを発信すべきではないか所見を伺う。

A 市町村や関係機関と連携を密にし、法務局に適切な対応を要請するなど今後も粘り強く取り組む。個別事案の削除要請を繰り返すことは被害防止の観点からは不十分。課題を根本的に解決し実効性のある制度となるよう、知事自ら国に直接足を運び、強く要望していく。

Q こども大綱(＊10)では、こども・若者の「意見形成支援」が明記され、こども・若者が意見を表明しやすい環境づくりが社会全体で始まっている。県が目指す若者の主体的な社会参画の在り方について、また、部局横断の若者専門の担当課が必要と考えるが所見を伺う。

A 県が若者の自主的意見を県政に取り入れる取り組みを積極的に行うことで社会参画の環境づくりにつなげたい。担当課設置は「埼玉県こども・若者計画」(＊11)を推進する庁内会議を活用して若者施策に取り組み、意見を政策に反映し誰一人取り残さない社会を目指す。

用語解説

＊1 病床数適正化支援事業

効率的な医療提供体制の確保を図るため、医療需要の急激な変化を受けて病床数の削減を行う医療機関に対し、診療体制の変更などによる職員の雇用などの負担を軽減することを目的に給付金を支給する事業。

＊2 重度心身障害者医療費助成制度

障害がある方の福祉の増進を図るため、医療機関を受診した場合の医療費の一部負担金を県と市町村で助成する制度。

＊3 ネーミングライツ

公共施設などに愛称を付けることができる権利(命名権)のこと。

＊4 EBPM

EBPM(証拠に基づく政策立案)とは、政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化したうえで合理的根拠に基づくものとすること。

＊5 タスク・トランスフォーメーション

デジタルを前提として、人と機械が行

うタスク、仕事を振り分け、職員がやるべき業務は人でなければならない業務に集中する。そして、県民サービスを向上させ、県民サービスの向上と業務効率化の実現を同時に目指すもの。

＊6 埼玉県地域防災計画

地震や風水害などの災害に対し迅速かつ的確に対応するために県が定めている計画。

＊7 防災基本計画

災害対策基本法に基づき、内閣総理大臣をはじめとする全閣僚、指定公共機関の代表者および学識経験者により構成される中央防災会議が作成する、政府の防災対策に関する基本的な計画。

＊8 要配慮者

高齢者、障害者、乳幼児その他の特に配慮を要する者のこと。

＊9 J R A T (ジェラット)

Japan Disaster Rehabilitation Assistance Teamの略で、被災者・要配慮者の生活不活発病(活動や運動が不

足し、心身の機能が低下する状態)や災害関連死などの予防に関する支援をリハビリ関連専門職が組織的に行う。

＊10 こども大綱

こども基本法に基づき、こども政策を総合的に推進するため、政府全体のこども施策の基本的な方針などを定めるもの。

＊11 埼玉県こども・若者計画

法律や条例に基づき、「こどもまんなか社会」の実現に向けた取り組みの内容、目標などを明確にするために県が策定するもの。

＊12 オーラルフレイル

嚥む、飲み込むなど口の機能の低下、食べる機能の障害、滑舌低下、さらには心身の機能低下までつながる負の連鎖に警鐘を鳴らした概念。

＊13 ソーシャルスキルトレーニング

ソーシャルスキルとは人が生きていく上で必要となる、人間関係やコミュニケーションに関わる「技術」「技能」のことで、これを訓練で学ぼうとするもの、またそ

の考え方。

＊14 民生委員・児童委員

民生委員は民生委員法に基づき、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員。無報酬でボランティアとして活動(任期は3年、再任可)。また、こどもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配ごとなどの相談・支援を行う児童委員も兼ねていることから「民生委員・児童委員」とも呼ばれている。

＊15 ICT (アイシーティー)

ICTとは、[Information and Communication Technology]の略で、情報通信技術のこと。ネットワークを活用して情報や知識を共有することも含めた幅広い言葉。

＊16 コンプライアンス

法令遵守のこと。企業などにおけるコンプライアンスとは、単なる法令遵守にとどまらず、企業倫理や社会規範などに従い、公正・公平に業務を行うという意味も含まれる。

意見書・決議

意見書15件を可決し、国に提出しました。また、決議1件を全会一致で可決しました。(●は全会一致での可決、○は賛成多数による可決)

●道路陥没事故に係る対応への支援を求める意見書

●刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書

●誹謗中傷に対する抑止力の抜本的な強化を求める意見書

●性犯罪の再犯防止の取組への支援の強化を求める意見書

●防災対策の充実強化を求める意見書

●介護支援専門員の研修制度の廃止等を求める意見書

●こども誰でも通園制度における補助額の拡充と制度の安定運営を求める意見書

●抗インフルエンザ備蓄薬に係る制度の見直しを求める意見書

●麻しん風しん混合ワクチンの安定供給等を求める意見書

●社会保険労務士法の早期改正を求める意見書

●刑事訴訟におけるDNA型鑑定の積極的活用を求める意見書

○選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論の一層の促進を求める意見書

○地方自治体の基金運用に関する規制の見直しを求める意見書

○持続可能な高額療養費制度になるよう更なる議論を求める意見書

○独立行政法人国立女性教育会館に関する国方針の着実な実現を求める意見書

●道路陥没事故に係る下水道復旧、住民・事業者への対応及び老朽化対策の決議

詳しくはこちら▶



県議会広報テレビ番組

テレ玉 (地デジ3チャンネル)

日曜日 午前10時から

「こんにちは県議会です」

県議会に関するさまざまな情報を分かりやすく紹介しています。番組の最後にはプレゼントコーナーもあります。ぜひご覧ください！

放送予定日

●議長インタビュー
6月22日 (10時～10時15分)

●副議長・議会運営委員長インタビュー
6月29日 (10時～10時15分)



進行役
野口美和アナウンサー

詳しい放送スケジュールは、随時ホームページでお伝えいたします。



2

埼玉県議会のホームページで、質疑質問・答弁の全文や、定例会の概要などをご覧いただけます。各種検索サイトから

埼玉県議会

検索

一般質問

2月28日、3月3日・4日の一般質問では、9人の議員が質疑・質問を行いました。



▲本会議の様子

会議録検索システム

本会議と予算特別委員会の詳細が分かる、会議録検索システムはこちらからご覧になれます。▶



2月28日(金曜日)



口腔トレーニングの更なる推進について



飯塚俊彦(自民) 北第2区 本庄市・神川町・上里町

Q 健康寿命のさらなる延伸のためには、歯の本数だけでなく、口腔機能にも注目したオーラルフレイル(*12)対策にも積極的に取り組む必要がある。簡単に機能向上を図ることができる器具などを使った口腔トレーニングを普及していく必要があると考えるが所見を伺う。

A オーラルフレイルは、身体機能や社会とのつながりの低下につながることから、予防は非常に重要。多くの方が自身にあった口腔トレーニングに取り組めるよう、器具を使ったトレーニングやお口の健康体操など、県歯科医師会や市町村と連携して予防の普及に努めていく。



地域医療と福祉の充実で誰もが安心して暮らせる埼玉へ 視覚障害者の方々の環境整備について



細川 威(民主フォーラム) 東第8区 越谷市

Q トイレの流すボタンが分からず誤って緊急ボタンを押してしまうケースなどもあることから、バリアフリー整備は、見た目だけではなく、当事者の実際の使用状況を踏まえ実用性を重視した設計が求められる。利用しやすいかどうかの検証や意見反映の仕組みについて伺う。

A 大規模改修した県有施設で車いす利用者に使い勝手を確認し、意見をいただいた。今後は視覚障害の方からも意見を聞く機会を設けたい。意見を集約・蓄積した上で、整備基準のガイドブックや県ホームページなどに掲載し、関係者に広く周知し意見の反映を依頼していく。



視覚障害者に配慮したバリアフリー対策の推進について



深谷顕史(公明) 西第7区 川越市

Q 音響式信号機がない歩車分離式信号交差点では、視覚障害の方が車両の動きを把握できず横断に危険を感じている。今後整備する歩車分離式信号交差点への音響式信号機の早期設置や音響式信号機のさらなる運用時間の拡大、信号機を整備した際の周知について所見を伺う。

A 音響式信号機の整備は視覚障害の方の利用頻度なども踏まえ必要性や優先度を勘案し検討する。また、団体などの要望を踏まえ付近住民の理解を得ながら運用時間の拡大も順次進める。新規整備箇所の周知は団体や市町村を通じて情報提供の充実が図られるよう検討する。

3月3日(月曜日)



高校生の中途退学防止策について



須賀昭夫(自民) 西第7区 川越市

Q 学校によっては中途退学者がかなり多いところもあり、県の調査では退学理由として「学校生活・学業不適応」が最多。入学した生徒たちが充実した学校生活を送り、中途退学をしないで済むよう、学校生活に適應できるための支援が必要と考えるが見解を伺う。

A 令和6年度から県立高校20校をモデルとしてNPOなどと連携し、校内の居場所づくりやソーシャルスキルトレーニング(*13)などに取り組んでいる。この成果を全県立学校に周知し、各学校における生徒の状況に応じた取り組みを推進し、しっかりと支援していく。



民生委員・児童委員(*14)の確保について



松坂喜浩(県民) 西第12区 東松山市・川島町・吉見町

Q 民生委員・児童委員の業務が多忙であることへの県の支援や、働いている委員が就労と活動の両立ができるよう企業・団体などに支援・協力を促すことが必要と考えるがいかがか。欠員地区の活動を担う隣接地区の委員に活動費を支給すべきと考えるが見解を伺う。

A 委員の活動を補助する協力員制度の導入やICT(*15)活用で業務効率化を図る市町村へ助成を行いサポートしたい。企業や団体に従業員などの委員就任に関心と理解を深めてもらえるよう働き掛ける。欠員地区担当分の活動費は実態を踏まえて支給することとしたい。



公立中学校の部活動改革のこれまでと今後部活動の地域展開による新たな価値の創出について



美田宗亮(自民) 東第10区 三郷市

Q 部活動の地域移行・展開を通じて、人と人、学校と地域がつながり、地域に交流の輪が広まるコンテンツとして成り得るのが「新たな地域クラブ活動」であり、目指すべき姿の一つだと感じる。県が目指す部活動改革による「新たな価値」とはどのようなものであるか伺う。

A 新たな価値とは部活動では得られない経験などを通じて生徒の心身の成長につなげること、生徒の活動が地域にとってもプラスになることの2つと考える。中学生と地域の方々が相互に影響し合って新たな価値を生み出すことが、地域移行の目指す姿であると理解している。

3月4日(火曜日)



県内小中学校の統廃合と義務教育学校・小中一貫校の推進について



柿沼貴志(自民) 東第1区 行田市

Q 児童生徒数の減少に対応しより質の高い教育環境を維持するため、行田市内の小中学校全20校を3つの義務教育学校に再編することを決定した。他市町村でも同様の議論が進んでいると聞いている。この状況を踏まえ、統廃合や再編を行うことについて知事の見解を伺う。

A 統廃合や再編は市町村が主体的に判断をし、住民に丁寧に説明し理解と協力を得ながら進めることが大切で、単なる数合わせではなく教育の質が問われるべき。県教育委員会にはどの市町村でも質の高い教育が維持されるよう市町村に寄り添った支援をしてほしいと考える。



埼玉県の医療、介護、保育人材の確保策 看護師・准看護師養成所への支援について



横川雅也(自民) 西第12区 東松山市・川島町・吉見町

Q 県内の大学や医師会などが設置する養成所66課程のうち6課程が今後廃止予定。養成機関の減少は医療人材確保に大打撃を与えるため避けなければならない。県として看護師などの人材確保のため、積極的に養成所の運営支援を行うべきと考えるが見解を伺う。

A 養成所への財政支援を継続するほか学生確保や将来の看護職員確保につながると考え、新たに小中学生対象の「ナースのお仕事体験教室」を養成所と連携し実施した。令和7年度も実施校を拡大し開催する予定。今後も関係者との意見交換を行い効果的な対策を検討する。



県庁職員のコンプライアンス(*16) 県庁の内部通報制度の敷居について



荒木裕介(自民) 南第8区 さいたま市桜区

Q 兵庫県の公益通報制度への対応が話題となり、組織のコンプライアンスが見直されようとしている。職員が使命感や倫理観をもって仕事に取り組むために内部通報の間口を広げ、敷居を下げるなど働き手が通報をためらわない窓口であるべきと考えるが見解を伺う。

A 県は法に基づく内部通報窓口のほか弁護士に通報できる外部窓口も設けており、職員が安心して通報できる体制を整えている。通報は多様な方法で受け付け匿名も可能。引き続き、職員がためらうことなく通報できる環境を整えコンプライアンスを徹底していく。

県議会を傍聴しませんか？

- 県議会議事堂4階の傍聴者受付で手続きができます。本会議の傍聴席は216席、各委員会の傍聴席は20席です。
- 本会議場では一般席とは別にこどもと一緒に気兼ねなく傍聴ができるよう親子傍聴室を設置しています。対象者は、乳幼児や児童とその保護者および引率者です。この他、一般席での傍聴が困難な方とその付き添いの方も利用することができます。

詳しくは、ホームページをご覧ください



傍聴に関するお問い合わせ先
県議会事務局議事課 : ☎ 048-830-6238



本会議の様子はインターネット中継でご覧になれます。右の二次元コードからアクセスできます。▶▶▶



ぜひ、ご覧ください!!

県議会マスコット「ポッポ」



予算特別委員会



委員長
高橋 政雄
(自民)



副委員長
岡地 優
(自民)



副委員長
安藤 友貴
(公明)

令和7年度一般会計当初予算案などについて、部局別質疑が3月11日から14日、17日の5日間にわたり行われ、19日には総括質疑が、24日には討論・採決が行われました。審査の結果21件を原案の通り可決すべきものと決定しました。

なお、一般会計当初予算案については、事業の執行に適切な対応を求める附帯決議を付すことを総員をもって決定しました。

予算特別委員会は32人の委員で構成され、県の予算案を集中的に審査するために設けられました。部局別質疑において事業内容などを詳細に審査した後、総括質疑では13人の委員が登壇しました。

各委員の質疑に対し、一問一答の形で知事をはじめ執行部から答弁がありました。

部局別質疑から

主な質疑と答弁

市町村の地籍調査(*1)が進まない要因について

Q

市町村の地籍調査が進まない要因をどのように捉えているのか。また、令和7年度はどのような対応を考えているのか。

A

地籍調査が進まない要因は、財政的な問題、人材不足、ノウハウがないことと捉えている。そのため、国の補助制度などがあることや業務委託ができることについて丁寧に説明するほか、研修会などを実施している。また、令和6年度に行った市町村へのアンケートでは、事業計画などの基礎的な調査への支援を求める声があったため、令和7年度から地籍調査準備支援事業を新たに予算計上している。

幼稚園教諭のさらなる処遇改善について

Q

令和5年度の予算特別委員会の附帯決議において、幼稚園教諭のさらなる処遇改善を求めたが、令和7年度当初予算案においてどのように反映しているのか。

A

令和4年度から実施している処遇改善については、幼稚園の負担割合を現行の4分の1から8分の1として、さらなる軽減を図る。また、これに加えてキャリアアップなどにつながる処遇改善を新たに設けた。

県営水道の管路の更新について

Q

県営水道の管路の更新に係る予算は限られている状況であるが、安全なインフラとして維持管理できるのか。

A

管路の更新に当たっては、老朽度、耐震適合性、断水時の被害の影響度を指標とし、優先度を評価して整備を行う。そのため、優先度の高い地区から実施する計画であり、計画どおり進めることで安全かつ強靱な水道施設を構築していく。

訪問看護師の育成と確保について

Q

訪問看護師の育成と確保について、どのような対策を講じているのか。

A

新たな訪問看護師の確保のため、訪問看護ステーションにおいて、看護学生や潜在看護師を対象に在宅現場における体験実習を行い、訪問看護への理解を図っている。また、育成の観点から、二次保健医療圏(*2)ごとに実践的な研修機会を提供している。さらに、事業所支援として、適正な診療報酬の請求を行うための医療事務研修の実施や、管理者が事業所の運営実務について相談できる窓口を設置するなど、多角的な視点で対策している。

空き家バンク(*3)の充実や住宅ストック(*4)の新たな利用促進策について

Q

空き家バンクの充実や住宅ストックの新たな利用促進策が非常に重要と思うがどうか。

A

空き家バンクを充実させる取り組みとして、空き家バンクの設置支援マニュアルの作成や、紹介動画を発信している。新たな促進策として、令和6年度から空き家バンクに登録された物件の改修費の補助などを行う市町村への財政的支援を行っている。

用語解説

* 1 地籍調査

主に市町村が主体となって、一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量する調査である。その成果は登記所に送られ、登記簿の記載が修正され、地図が更新されるとともに、固定資産税算出の際の基礎情報となるなど、市町村におけるさまざまな行政事務の基礎資料として活用される。

* 2 二次保健医療圏

一般の入院に係る医療を提供することが相当である単位として設定。複数の市町村で構成される。

* 3 空き家バンク

空き家を売りたい・貸したい人と空き家を買いたい・借りたい人をつなぐ制度。埼玉県では主に市町村が主体となって運営している。

* 4 住宅ストック

既存の住宅のこと。

予算特別委員会 委員名簿								(令和7年3月27日現在)
委員長	高橋 政雄(自民)	栄 寛美(自民)	戸野部直乃(公明)	逢澤圭一郎(自民)	諸井 真英(無所属)	細田 善則(自民)		
副委員長	岡地 優(自民)	渡辺聡一郎(自民)	野本 怜子(民主フォーラム)	松井 弘(自民)	木下 博信(自民)	白土 幸仁(自民)		
副委員長	安藤 友貴(公明)	岡村ゆり子(県民)	伊藤はつみ(共産党)	宮崎 吾一(自民)	藤井 健志(自民)	神尾 高善(自民)		
		松本 義明(自民)	平松 大佑(県民)	関根 信明(自民)	吉良 英敏(自民)	鈴木 正人(自民)		
		金子 裕太(自民)	小川 直志(自民)	武田 和浩(民主フォーラム)	橋詰 昌児(公明)	木村 勇夫(民主フォーラム)		
		柿沼 貴志(自民)	阿左美健司(自民)	石川 忠義(県民)	白根 大輔(民主フォーラム)			

総括質疑から

主な質疑と答弁

県庁舎再整備の推進について

Q 県庁舎再整備の推進について、令和7年度から2年かけて基本構想・基本計画を策定することのだが、現在地建て替えとなった場合の浦和美園地区の活用も並行して議論することが重要である。最も重要な場所の選定については、令和7年度中に行うことで、次のステップに進みやすいと考えるがどうか。

A 令和7年度は、主に基本方針や機能などを整理する基本構想の相当部分を、令和8年度は、主に建物配置を含む施設計画などを整理する基本計画の相当部分を策定する予定である。施設計画などを整理していくために、令和7年度中に位置を決定できるよう検討を進めていく。浦和美園地区の活用についても、同時並行で検討を進めたい。

農業技術研究センターについて

Q 農業技術研究センターの本所について、畜産における防疫対応には、県民が相談に訪れる際にも消毒が必要となるため、機能をしっかりと分ける必要があると考える。また、久喜試験場に関しても、研究成果を地域に還元できていないことから、センターの再編が必要であると考えているがどうか。

A 本所は、家畜伝染病予防法上の基準に基づいて対応が可能なことから、防疫動線や立入りの制限区域などの見直しを検討したい。また、久喜試験場は現時点ではトマトの次世代技術の実証普及や果樹研究などを行っているが、令和6年度、旧園芸用ハウスを解体して更地になった土地もあるため、この活用方策の検討も含め、さらなる技術開発と活用について検討していく。

口腔保健センターについて

Q 歯科医師会が運営する口腔保健センターについて、県直営の他の施設に比べて、診療報酬収入で賄えない赤字に対する県からの補填が明らかに少ない。現在の負担割合を改め、県が補填すべきではないか。また、機器更新にかかるコストに関しても県が全額負担するべきと考えるがどうか。

A 安定的に診療を提供することが大切という観点から、県と歯科医師会との間で、診療報酬などの収入で賄えなかった分の2分の1を負担することで合意しているが、近年では2分の1までの補填に至っていない。歯科医師会側から要望がある場合には、改めて財政支援の検討を協議したい。また、設備や備品の更新については計画的な更新が必要であるが、歯科医師会からは現時点では検討を行っていないと聞いている。今後、しっかりとした計画に基づいた更新の要望があった場合、協議を行う準備はある。

児童・生徒への自殺予防の取り組みについて

Q 無料通信アプリLINE（ライン）相談については、中高生を対象に平日の17時から22時まで開設している。児童生徒にとって一番身近なツールであるLINEを使っの相談を拡充していくべきと考える。今後、小学生の高学年まで対象を拡大することについて検討状況はどうか。

A 県調査において高学年への拡大は、知らない大人と直接相談することの不安や文字だけで円滑なコミュニケーションを図ることに課題があることを確認している。他の自治体の実施状況を踏まえ、試験的な実施などについて検討していく。

その他の主な質疑

総括質疑の詳細はこちら▶



部局別質疑から

- バーチャルユースセンターの設置・運営の改善
- イネカメムシの広域防除対策
- ロボット産業の育成支援
- 橋りょうの計画的な維持管理
- 交通事故抑止対策の強化

総括質疑から

- 北部地域振興交流拠点の検討推進
- 「渋沢MIX」におけるイノベーションの創出
- サーキュラーエコノミーの推進
- 医師確保対策
- 里親委託の推進
- 教育相談等支援体制の充実

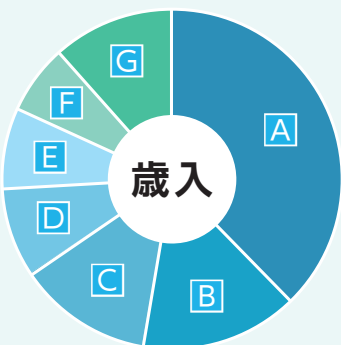


附帯決議

次の事業などについては、執行方法に関して適切に対応するよう求めました。

- 県内の医師確保対策
- 県立高校の魅力向上
- 保育士・幼稚園教諭・児童養護施設職員・介護士・看護師等の処遇改善
- 埼玉県歯科医師会口腔保健センターへの運営費補助
- 教職員の駐車場費用負担

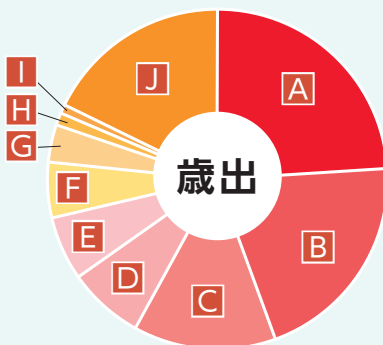
令和7年度 一般会計予算の概要



A	県税	8,794億円 (39.4%)
B	地方消費税清算金	3,467億円 (15.5%)
C	地方交付税	2,820億円 (12.6%)
D	国庫支出金	1,773億円 (8.0%)
E	県債	1,687億円 (7.6%)
F	地方譲与税	1,594億円 (7.2%)
G	その他	2,174億円 (9.7%)

当初予算

2兆2,308億9,000万円



A	教育費	5,345億円 (24.0%)
B	民生費	4,621億円 (20.7%)
C	公債費	2,795億円 (12.5%)
D	警察費	1,673億円 (7.5%)
E	土木費	1,424億円 (6.4%)
F	総務費	1,137億円 (5.1%)
G	衛生費	777億円 (3.5%)
H	農林水産業費	260億円 (1.2%)
I	商工費	190億円 (0.8%)
J	その他	4,087億円 (18.3%)

うち、議会費32億円
※金額の端数処理を行っています。



▲予算案の概要はこちら



委員会 レポート

report

2 月 26 日、3 月 6 日、21 日に常任委員会を開き、補正予算・条例などの議案の審査などを行いました。審査の結果、議案 54 件を原案の通り可決すべきものと決定しました。

3 月 10 日には特別委員会（予算特別委員会、5 か年計画等特別委員会を除く。）を開き、付託案件の審査を行いました。

議会運営委員会

2 月 12 日と定例会中の 9 日間、会議を開き、本会議を円滑かつ効率的に進行するため、議事日程、質疑質問者の人数、採決の方法や順序などについて会派間の協議を行いました。



常任委員会

委員長報告は
こちら▶



特別委員会

委員長報告はこちら▲



企画財政委員会

埼玉県職員定数条例の一部を改正する条例

Q 単発的な事業の終了後、増員した職員の受け皿は。また、下水道局職員の定数は増員後の 121 人で十分か。

A ねんりんピックの開催対応のため 15 人増員。大会後は残務状況を見ながら査定していく。下水道局では道路陥没事故などを踏まえ 10 人増員。今後も進捗が図れるよう措置を検討する。

環境農林委員会

令和 6 年度埼玉県一般会計補正予算 (第 6 号) 脱炭素分散型エネルギー社会構築事業費の減額補正について

Q 減額補正の理由は、国庫補助金の採択により埼玉版スーパー・シティプロジェクトに係る市町村への補助金が見込みを下回ったためとのことだが、国庫補助金とのすみ分けは。

A 活用可能な国庫補助などを優先。ほかの補助金の要件に適合しない場合などに本補助金が活用できるよう要件を柔軟にしている。

産業労働企業委員会

令和 6 年度埼玉県一般会計補正予算 (第 6 号) 入札の不調について

Q S A I T A M A ロボティクスセンター (仮称) の入札が 2 回不調になった理由は何か。また、次回の対応策は。

A 工事に必要な技術者の確保ができないことが入札に参加できなかった理由と聞いている。技術者確保のため早めの発注情報提供の要望があることから、次回の発注時期の見通しを既に公開している。

文教委員会

埼玉県学校設置条例の一部を改正する条例

Q 県立高等学校の再編整備に伴い 12 校を 6 校に統合するとのことだが、それぞれどちらの校舎を使うのか。また、どのような基準で選んだのか。

A 和光国際、岩槻、秩父、越生、八潮南、大宮工業の各高等学校にそれぞれ新校を設置する。選定は、これまでの生徒の募集状況や交通の利便性などを考慮して判断した。

5 か年計画等特別委員会

5 か年計画および各分野における基本的な計画の策定などに関する件について審査

審査の様子▶

2 月 26 日に 5 か年計画等特別委員会が設置され、法律や制度の改正などに伴い目標値の整合性が取れていないものなど 13 指標の見直しを行う「埼玉県 5 か年計画 (令和 4 年度からの 5 年間の県政運営の指針) 等の変更について」や、こども・若者が誰一人取り残されず、将来にわたって幸せに過ごすことができる「埼玉県こども・若者計画の策定について」など、6 件の議案について審査を行いました。審査の結果、議案 3 件を可決すべきものと決定し、3 件を修正可決しました。なお、「第 3 期埼玉県まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について」および「埼玉県こども・若者計画の策定について」は、事業の執行に適切な対応を求める附帯決議が付されています。

総務県民生活委員会

職員の勤務時間・休暇等に関する条例等の一部を改正する条例

Q フレックスタイム制を職員がもっと柔軟に取得できるように環境を整えていくべき。制度の根底にある部分をどのように理解し、あるべき姿をどう考えているのか。

A D X が進む中、いかに働きやすく、働き方を柔軟に変えていけるか考えている。さまざまな制度の中から最適な選択ができる職場環境づくりを進める。

福祉保健医療委員会

埼玉県民生委員の定数を定める条例の一部を改正する条例

Q 協力員制度を設けることで民生委員のなり手不足の解消につながるのか。協力員は民生委員と同等の人数か。

A 民生委員は活動に負担を感じて、4 割が一期 3 年で辞めている。協力員を置くことで、業務分担・負担軽減が図られ、後継者育成も期待できる。協力員の人数は、市町村が判断し配置される。

県土都市整備委員会

令和 6 年度埼玉県流域下水道事業会計補正予算 (第 3 号) 八潮市における下水道管の破損および道路陥没事故への対応に伴う建設改良費の増額補正

Q 総事業費 90 億円となったが、具体的に工事のどの部分に充当されるのか。

A 破損した下水道管から汚水をう回させるための仮排水管の整備や、トラックの運転席部分救出のための入口の設置、破損した下水道管の復旧などである。

警察危機管理防災委員会

埼玉県地方警察職員定数条例の一部を改正する条例

Q 警察官 175 名の増員の配置は。増員によってどのような効果が期待できるのか。

A サイバー空間における対処能力の強化および匿名・流動型犯罪グループに対する取り締まり強化を図るため、警察本部および警察署の関係部門に配置。本県警察官 1 人当たりの人口負担や刑法犯認知件数の負担が軽減される。



委員は次のとおりです。
定数 18 人 (◎は委員長、○は副委員長)
令和 7 年 3 月 27 日現在

◎中屋敷慎一 (自民)	千葉達也 (自民)
○荒木裕介 (自民)	井上 航 (県民)
長峰秀和 (自民)	藤井健志 (自民)
小早川一博 (公明)	横川雅也 (自民)
金野桃子 (県民)	白根大輔 (民主フォーラム)
須賀昭夫 (自民)	細田善則 (自民)
城下のり子 (共産党)	白土幸仁 (自民)
杉田茂実 (自民)	萩原一寿 (公明)
高橋稔裕 (自民)	水村篤弘 (民主フォーラム)

主 要 会 派 か ら ～2月定例会～



埼玉県議会自由民主党議員団

団長 **田村 琢実**

2月定例会では、団長の私が代表質問を行い、順天堂大学医学部附属病院整備中止についての言及を皮切りに、県庁舎や県営公園などの整備、また、保育士の処遇改善や重度心身障害者医療費助成制度の拡充など、多岐にわたって提言や質問をしました。

一般質問では6名の議員が登壇し、DXによる県民サービスの向上や、公共交通政策、医療や介護、さまざまな教育政策から地元の道路整備など、それぞれの議員が幅広い分野について質問をしました。

また、予算特別委員会では、18名の委員がそれぞれの専門的分野を中心に質疑を行って審査をした後、医師確保対策や保育士・幼稚園教諭・介護士・看護師などの処遇改善などを求めた7項目の附帯決議を提案し、決定しました。

私たち自由民主党議員団は、ソーシャルインクルージョン（社会的包摂）の考えを尊重し、県民の皆さまのご意見・ご要望に寄り添い、県政向上のための提案を積極的に行ってまいります。



埼玉民主フォーラム

代表 **田並 尚明**

埼玉民主フォーラム代表の田並尚明です。

令和7年度の予算案では、個人県民税や法人二税の増収が見込まれるなど、前年度比5.2%増となる、約2兆2,300億円が計上されました。これは県民の皆さまのご理解とご協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

しかしながら、景気回復を実感できる方がどれほどいるでしょうか。足元の景気は依然厳しい状況にあると言えます。

民主フォーラムでは、木村勇夫議員、白根大輔議員、武田和浩議員、野本怜子議員が予算特別委員会で、また、代表質問では私が、一般質問では細川威議員がそれぞれの分野で議論を重ねました。医療・福祉や産業振興、人材不足の問題に加え、八潮市で発生した道路陥没事故を踏まえ、災害時に県民に迅速かつ正確な情報を届けるための情報発信の強化についても強く訴えました。

これからも民主フォーラムは、より良い埼玉県を目指し、県民の皆さまの生活と、安心・安全を守り、皆さまのご要望を実現すべく、会派一丸となって努力を続けてまいります。



埼玉県議会公明党議員団

団長 **蒲生 徳明**

今定例会は、代表質問に私が、一般質問に深谷顕史議員が登壇しました。

私は、県の防災対策について福祉的視点からの地域防災計画の見直し、認知症支援、県のこども若者政策、駐車許可の在り方、県立特別支援学校体育館へのエアコンの設置などについて、深谷議員は、本県の偽情報や誤情報に対するオリジネーター・プロファイルの活用、感染症版FEMAによる対策などを質問し、それぞれに前向きな答弁がありました。

予算特別委員会総括質疑では、橋詰議員が児童生徒への自殺予防の取り組みなど、戸野辺議員がスポーツ科学拠点施設など、活発な質疑を展開し、執行部から推進に向けた答弁を得ました。

新年度予算は、わが団が求めた激甚化・頻発化する自然災害への防災・減災対策の強化、福祉・医療・障害者支援の充実、子育て支援、物価高による価格転嫁などの中小企業支援など、県民生活に直結する分野に十分な予算が確保されており、賛成しました。



無所属県民会議

代表 **井上 航**

2月定例会の予算特別委員会には、会派から3名が臨みました。

平松議員はスタートアップ創出策を充実させ、埼玉ならではの独自性あるスタートアップ成長支援を求めました。

石川議員は、障害者手帳を持たない難病患者の就労支援について、知事から前向きな答弁を得ることができました。

岡村議員は、会派で視察を行い、保護者からも相談を受けていた県立特別支援学校の過密対策を取り上げました。新年度予算では県立和光南特別支援学校の全面改修など過密解消に向けた予算が計上されており、私たちが届けた県民の声が実現したことを高く評価しています。

審査を通し、会派が重視する「県民に寄り添う」予算案であると認め、賛成しました。この他、わが会派がこれまで提案した「職員の休憩時間を12時からに限定せず任意の時間に設定」できるようにする条例改正も行われました。

今後多くの県民が住みよく、職員も働きやすい埼玉県を目指して活動してまいります。



日本共産党埼玉県議会議員団

団長 **城下 のり子**

党県議団は一般会計予算、国民健康保険事業特別会計予算、工業用水道事業会計予算、水道用水供給事業会計予算、流域下水道事業会計予算などの議案に反対しました。

一般会計予算には教室不足が深刻な特別支援学校の増設や児童相談所の建て替え、一時保護所の個室化など党県議団の要望や県民の願いに寄り添った予算が盛り込まれました。しかし、さまざまな県民への負担増や予算削減も盛り込まれました。党県議団は物価高騰と実質賃金低下に苦しむ県民に対し、その困難に追い打ちをかけることから全体として反対しました。

その他、「さいたまスーパーアリーナ条例の一部を改正する条例」について利用料金上限を最大で67%引き上げることから反対しました。

予算特別委員会では、イネカメムシ防除対策の抜本的強化、精神障害者保健福祉手帳2級所持者の医療費を無償にする助成制度の拡充、消費生活支援センターの体制強化を求めました。

引き続き県民の皆さまの願いの実現のために力を尽くしていきます。

県議会公式 YouTube



埼玉県議会公式 YouTube チャンネルでは、テレビ広報番組「こんにちはは県議会です」やテレビ埼玉で放送された各定例会の代表質問・一般質問、予算特別委員会（総括質疑）などの動画を公開しています。

分割してアップしているので、気になる質問や見たい内容にすぐにアクセスすることができます。

また、10代・20代向けの県議会プロモーション動画「AI サポーターに聞こう！埼玉県議会の役割と私たちにできること」やこども向けのプロモーション動画「議事堂探検隊」もご覧いただけます。ぜひご覧ください！



会派別所属議員数 令和7年4月16日現在

会派名（略称）	所属議員数
自 民	56 人
民主フォーラム	11 人
公 明	9 人
県 民	7 人
共 産 党	3 人
改 革	1 人
無 所 属	3 人
計	90 人（欠員3）

埼玉県議会の令和6年度 情報公開等の結果について

令和6年度に公開請求を受け付けた公文書の件数は、32件でした。そのうち文書の全てを公開したものが1件、該当するものがなかったなどの理由により公開できなかったものが31件でした。

また、令和6年度に請求を受け付けた保有個人情報の開示・訂正・利用停止請求の件数は、0件でした。

「埼玉県議会だより」 音声版・点字版について

「埼玉県議会だより」は、視覚障害者の方へデージー版（音声のみ）や点字版を発行しています。視覚障害者またはそのご家族の方などで送付を希望される方は、埼玉県議会事務局政策調査課へご連絡ください。

☎ 048-830-6257



マチイロ

議会だよりを
スマホで読めます。



ブックシェルフ埼玉

議会だよりを電子書籍で読めます。



県議会公式 X

県議会の最新情報を発信します。



新たな委員会構成

※○は委員長、〇は副委員長です。 令和7年4月16日現在

委員会名		正副委員長		委員										
議会運営委員会	定数 17	◎ 横川 雅也 (自民)	戸野部直乃 (公 明) 伊藤はつみ (共 産 党) 平松 大佑 (県 民) 高橋 稔裕 (自 民) 渡辺 大 (自 民)											
		○ 逢澤圭一郎 (自民)	美田 宗亮 (自 民) 宇田川幸夫 (自 民) 町田 皇介 (民主フォーラム) 荒木 裕介 (自 民) 水村 篤弘 (民主フォーラム)											
		○ 権守 幸男 (公明)	齊藤 邦明 (自 民) 新井 一徳 (自 民) 中屋敷慎一 (自 民) 小島 信昭 (自 民)											
常任委員会														
企画財政委員会	定数 12	◎ 千葉 達也 (自民)	高木 功介 (無 所 属) 泉津井京子 (民主フォーラム) 金子 裕太 (自 民) 井上 航 (県 民) 美田 宗亮 (自 民)											
		○ 長峰 秀和 (自民)	白根 大輔 (民主フォーラム) 白土 幸仁 (自 民) 横川 雅也 (自 民) 権守 幸男 (公 明) 田村 琢実 (自 民)											
総務県民生活委員会	定数 12	◎ 阿左美健司 (自民)	岡村ゆり子 (県 民) 城下のり子 (共 産 党) 深谷 顕史 (公 明) 木下 博信 (自 民) 藤井 健志 (自 民)											
	欠員 1	○ 東山 徹 (自民)	町田 皇介 (民主フォーラム) 逢澤圭一郎 (自 民) 武内 政文 (自 民) 梅澤 佳一 (自 民)											
環境農林委員会	定数 11	◎ 杉田 茂実 (自民)	江原くみ子 (無 所 属) 林 薫 (自 民) 細川 威 (民主フォーラム) 松坂 喜浩 (県 民) 飯塚 俊彦 (自 民)											
		○ 橋詰 昌児 (公明)	内沼 博史 (自 民) 新井 豪 (自 民) 小川真一郎 (自 民) 小島 信昭 (自 民)											
福祉保健医療委員会	定数 12	◎ 関根 信明 (自民)	野本 怜子 (民主フォーラム) 伊藤はつみ (共 産 党) 渡辺 大 (自 民) 小川 寿士 (民主フォーラム) 石川 忠義 (県 民)											
		○ 須賀 昭夫 (自民)	吉良 英敏 (自 民) 小久保憲一 (自 民) 萩原 一寿 (公 明) 新井 一徳 (自 民) 小谷野五雄 (自 民)											
産業労働企業委員会	定数 12	◎ 松井 弘 (自民)	小早川一博 (公 明) 小森 克己 (民主フォーラム) 渋谷真実子 (自 民) 平松 大佑 (県 民) 永瀬 秀樹 (自 民)											
	欠員 1	○ 渡辺聡一郎 (自民)	荒木 裕介 (自 民) 岡地 優 (自 民) 鈴木 正人 (自 民) 田並 尚明 (民主フォーラム)											
県土都市整備委員会	定数 12	◎ 柿沼 貴志 (自民)	栄 寛美 (自 民) 松本 義明 (自 民) 中川 浩 (改 革) 諸井 真英 (無 所 属) 宇田川幸夫 (自 民)											
	欠員 1	○ 戸野部直乃 (公明)	細田 善則 (自 民) 齊藤 邦明 (自 民) 高橋 政雄 (自 民) 木村 勇夫 (民主フォーラム)											
文教委員会	定数 11	◎ 高橋 稔裕 (自民)	鈴木まざひろ (自 民) 山崎すなお (共 産 党) 八子 朋弘 (県 民) 宮崎 吾一 (自 民) 松澤 正 (自 民)											
		○ 保谷 武 (自民)	日下部伸三 (自 民) 水村 篤弘 (民主フォーラム) 中屋敷慎一 (自 民) 塩野 正行 (公 明)											
警察危機管理防災委員会	定数 11	◎ 小川 直志 (自民)	森 伊久磨 (自 民) 金野 桃子 (県 民) 尾花 瑛仁 (自 民) 武田 和浩 (民主フォーラム) 浅井 明 (自 民)											
		○ 安藤 友貴 (公明)	岡田 静佳 (自 民) 立石 泰広 (自 民) 神尾 高善 (自 民) 蒲生 徳明 (公 明)											
特別委員会														
自然再生・循環社会対策特別委員会	定数 13	◎ 内沼 博史 (自民)	渡辺聡一郎 (自 民) 林 薫 (自 民) 野本 怜子 (民主フォーラム) 千葉 達也 (自 民) 石川 忠義 (県 民)											
	欠員 1	○ 柿沼 貴志 (自民)	藤井 健志 (自 民) 町田 皇介 (民主フォーラム) 萩原 一寿 (公 明) 武内 政文 (自 民) 神尾 高善 (自 民)											
地方創生・行財政改革特別委員会	定数 13	◎ 吉良 英敏 (自民)	高木 功介 (無 所 属) 森 伊久磨 (自 民) 東山 徹 (自 民) 松井 弘 (自 民) 井上 航 (県 民)											
	欠員 1	○ 渡辺 大 (自民)	新井 豪 (自 民) 横川 雅也 (自 民) 水村 篤弘 (民主フォーラム) 田村 琢実 (自 民) 蒲生 徳明 (公 明)											
公社事業対策特別委員会	定数 13	◎ 永瀬 秀樹 (自民)	泉津井京子 (民主フォーラム) 山崎すなお (共 産 党) 渋谷真実子 (自 民) 保谷 武 (自 民) 松坂 喜浩 (県 民)											
	欠員 1	○ 高橋 稔裕 (自民)	美田 宗亮 (自 民) 橋詰 昌児 (公 明) 白根 大輔 (民主フォーラム) 新井 一徳 (自 民) 小島 信昭 (自 民)											
少子・高齢福祉社会対策特別委員会	定数 13	◎ 岡田 静佳 (自民)	栄 寛美 (自 民) 鈴木まざひろ (自 民) 細川 威 (民主フォーラム) 八子 朋弘 (県 民) 小川 寿士 (民主フォーラム)											
		○ 逢澤圭一郎 (自民)	中川 浩 (改 革) 浅井 明 (自 民) 小久保憲一 (自 民) 梅澤 佳一 (自 民) 高橋 政雄 (自 民)											
経済・雇用対策特別委員会	定数 13	◎ 細田 善則 (自民)	岡村ゆり子 (県 民) 江原くみ子 (無 所 属) 須賀 昭夫 (自 民) 尾花 瑛仁 (自 民) 伊藤はつみ (共 産 党)											
		○ 深谷 顕史 (公明)	宮崎 吾一 (自 民) 安藤 友貴 (公 明) 日下部伸三 (自 民) 岡地 優 (自 民) 中屋敷慎一 (自 民)											
危機管理・大規模災害対策特別委員会	定数 13	◎ 宇田川幸夫 (自民)	長峰 秀和 (自 民) 小早川一博 (公 明) 金野 桃子 (県 民) 松本 義明 (自 民) 城下のり子 (共 産 党)											
		○ 権守 幸男 (公明)	杉田 茂実 (自 民) 阿左美健司 (自 民) 武田 和浩 (民主フォーラム) 立石 泰広 (自 民) 荒木 裕介 (自 民)											
人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会	定数 13	◎ 松澤 正 (自民)	小森 克己 (民主フォーラム) 金子 裕太 (自 民) 戸野部直乃 (公 明) 平松 大佑 (県 民) 関根 信明 (自 民)											
		○ 小川 直志 (自民)	諸井 真英 (無 所 属) 木下 博信 (自 民) 小川真一郎 (自 民) 齊藤 邦明 (自 民) 鈴木 正人 (自 民)											
図書室委員会	定数 14	◎ 阿左美健司 (自民)	小森 克己 (民主フォーラム) 保谷 武 (自 民) 尾花 瑛仁 (自 民) 戸野部直乃 (公 明) 城下のり子 (共 産 党)											
		○ 小川 直志 (自民)	八子 朋弘 (県 民) 武田 和浩 (民主フォーラム) 吉良 英敏 (自 民) 細田 善則 (自 民) 岡地 優 (自 民)											
			武内 政文 (自 民) 神尾 高善 (自 民)											

大学生等と県議会議員との意見交換会を今年度も開催予定

令和6年度に県議会として初めて実施しました「大学生等と県議会議員との意見交換会」を今年度も10月に開催予定です。

現在、募集開始に向けて準備を行っています。

県議会のホームページで開催日程や募集要領などをお知らせします。

学生の皆さまのご応募をお待ちしています。



昨年度のテーマは「若者と政治の距離をどう縮めるか、若者の政治離れについて～地方議会としては何をすべきか～」でした。参加者の皆さまからいただいたご意見やご感想の一部をご紹介します。

なぜ若者と政治の距離が縮まらないのか？

- 今の暮らしに若者が困っておらず、政治を自分たちと関係ない人ごとと思っているからではないか。

若者と政治の距離を縮めるために何をすべきか？

- 自分の生活が政治の延長線上にあることを何かしらの方法で伝えられればよいのではないか。
- 議会の一般質問について、福祉や教育といったジャンルごとに日程を分けると若者も興味を持ちやすいのではないか。
- 主権者教育を早い段階から適切な時期に行うことで選挙や政治に対するハードルが下がり、政治へのアクセスがしやすくなるのではないか。



▲意見交換会の様子(令和6年10月11日開催)



◀意見交換会についてはこちらから

県議会クイズ

Ｑ○○に当てはまる数字はいくつでしょう。

予算特別委員会の委員は○○名(委員長・副委員長を含む)です。

はがきに右記のようにご記入の上、5月23日(金)(当日消印有効)までにお送りください。正解者の中から抽選でプレゼントを差し上げます。

当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。対象は、埼玉県内に在住・在勤・在学している方のみとなります。

【個人情報取り扱い】応募はがきは、抽選とプレゼントの発送以外の目的には使用いたしません。



ヒント
4面をよ〜く読んで教えてね!

プレゼント
図書カード 20名様
(1,000円分)

県議会マスコット「ポッポ」

85円

〒330-9301
「県議会クイズ」係
政策調査課
埼玉県議会事務局

1. クイズの答え
2. 郵便番号
3. 住所
4. 通勤通学先の市町村名(県外にお住まいの方のみ)
5. 氏名・年齢
6. 埼玉県議会だよりに関するご意見

◀県議会ホームページからもお応募いただけます。

県議会公式 X のご案内

県議会の公式Xでは、定例会情報やテレビ番組の放送案内、県議会で開催するイベント情報などを随時お知らせしています。

議事堂に飾られる生け花も紹介しています！

県議会マスコットの「ポッポ」がつぶやくことがあるかもしれません。

ぜひフォローしてチェックしてみてください！



@saitamakengikai
で検索してね!



8 再生紙を使用しています。